



## 小さなことからコツコツと～具体的に動くこと～

私が大好きな言葉の一つが「**小さなことからコツコツと**」です。これは、西川きよしさん（日本を代表する漫才師）の座右の銘として知られる言葉で、大きなことを成し遂げるには、まず目の前のちいさなことから着実に努力を重ねることが大切だという意味です。

この言葉は、二宮尊徳の「積小為大」という考えに通じるもので、小さな努力を積み重ねることで、やがて大きな成果に繋がるという教えを表しています。

西川さんの生い立ちと重なる面がある私は、自然とその人柄に惹かれていました。そして、以前はただ聞き流していた「小さなことからコツコツと」という言葉の真髓を、学校を経営する立場を歩み始めてから感じるようになりました。

このことから、今年度の本校教育スローガンの一つを、以下のように掲げています。

**小さなことから具体的にコツコツと**



和  
気  
香  
風

## 「事件は会議室で起きてんんじゃない。現場で起きてんだ。」

これは、「踊る大捜査線」THE MOVIE での一場面。一刻を争う現場の状況と大きくかけ離れた温度の会議室で、自身の保守や利益のための議論ばかりを行う上層部。そこにいる幹部たちに向けて、現場の青島刑事が無線で叫んだ言葉です。とても有名なシーンであり、台詞ですね。

昭和生まれの人間として、「金八先生」でも、「スクールウォーズ」でも、この青島刑事でも、「**熱い人間**」が大好きなんです。（わかりますかねえ？金八先生は大丈夫でしょ？）

この台詞を学校バージョンに変換してみると、「**教育（授業）は職員室で起きてんんじゃない。現場（教室、子どもの前）で起きてんだ。**」となるでしょうか。

職員室で会議を重ねることは、とても重要な仕事です。その上で、もっと重要なのは、教室での授業をより充実したものにしていくために、言葉だけでなく、**具体的に動いていくこと**です。

今日は、教室で起きている具体的な実践を紹介します。数ある中から、今回は3例、本校職員の熱い思いと姿をお届けします。



熱いぜ！①

命を守り、体力を高めるために

コロナ渦以降、子どもの体力の低下が大きな問題となっています。本校でも、今年度の重点取組事項として掲げています。現在行っている水泳でも、泳ぎを不得意とする子どもたちが多いのが実態です。

下の写真は、水泳の授業に熱心に取り組む職員の姿です。まず、大切な子どもの命を守るために、担任（右写真）だけでなく、教頭（片峯：左写真）と教務主任（村田：中央写真）が授業に参加し、必ず複数による見守り体制を作り上げてくれています。さらに、泳力ごとのコース別学習ができる環境を作り、個に応じた指導ができるようにしています。職員がチームで臨んでいます。教頭と教務は、学校でも仕事量が多い役職です。時間さえあれば、事務作業を進めたいのが常です。しかし、片峯と村田は違います。**子どもの命を守りたい、体力（泳力）を高めたいという熱い思いが、具体的な行動に表れています。**

